

相次ぐ地方建設会社の関東進出

日本住宅、信和建設東京に営業所新設

地方で賃貸住宅を手掛ける大手建設会社相次いで関東に進出している。地元で留まらず、首都圏で勝負を挑む各社の展望とはいかなるものだろう。

東北エリアで賃貸住宅で、首都圏に掛ける意気着工数ナンバー1の実績込みの強さが伺える。

を持つ日本住宅（岩手県盛岡市）は、10月24日、東京本部・東京支店を有とになりまし（滝村有楽町駅前に開設した。新照男社長）。支店開設の準備室を通じて、関東エリアでの営業はすでにス



日本住宅
(岩手県盛岡市)
滝村照男社長(55)



信和建設
(大阪府大阪市)
前田裕幸社長(44)

ターゲットしており大手管理会社との提携など手応えもあった。また、東日本大震災も時期を早めた理由のひとつ。

「震災発生時、社長、副社長、専務といった幹部が東京出張中でした。だからこそ情報をすぐに収集し、現場にさまざまな指示を出すことができました」（滝村社長）と、

本部機能の分散化による危機管理対策を考えるきっかけとなった。

大阪市内を中心に賃貸マンション建設を手掛け、ユニークな企画物件

や大型物件の建設を得意としている。

「すでに西新橋などで賃貸マンションを受注。好調な出だしです」（前田裕幸社長）

東建コーポレーション（愛知県名古屋）も関東での仲介店舗出展を強化した。同社も既存エリアに加え、首都圏での店舗展開をきっかけに新規着工受注を増加させていた。